



映像



小学校体育館の空調整備は6校同時に

財政負担を考え実施計画に基づく



ささの やすお 議員
笹野 康男

近年夏の暑さは異常である。子どもの体調を考えた時、また、避難所となる体育館の空調整備は、子どもと住民の命を守るために絶対に必要である。

問 6校同時の整備を考えているか。

答 教育部長▼財政負担を考え、令和7年度では3校の設置工事を考えている。

問 整備される3校の小学校はどこか。

答 坂崎・深溝・豊坂小学校の3校。

問 6校同時に整備すると費用はいくらかかるか。

答 中学校3校で約2億円かかり、小学校6校ではその2倍の費用が見込まれる。

深溝運動場の隣に総合体育館の建設を

体育館の建設検討委員会等で研究していく

地域の特性を活かし、快適に暮らすため都市施設を適正に配置すると総合計画で言っている。

問 深溝運動場の隣に4万㎡の町有地があるが、そこに総合体育館建設の考えは。

答 教育部長▼スポーツ施設の検討に向けた基礎調査を進めている。



エアコンが設置された南部中学校体育館



映像



必要時に生理用ナプキン受け取りやすく

受け取りカードをわかりやすく工夫



いわもと ちほ 議員
岩本 知帆

女性の健康的な生活について問う。

問 生理用ナプキンを必要時に受け取りやすい環境整備を。

答 企画部長▼受け取りカードをわかりやすく工夫。配布場所に中央公民館も調整。



困ったときに活用を

商業施設にも涼める場所の拡大を

来年度、民間事業者を公募予定

問 今年、公共機関に設置したクーリングシェルターなど涼める場所を、来年はスーパーやコンビニエンスストアに拡大、徒歩や自転車移動の住民、下校時の児童・生徒の熱中症対策として活用を。

答 環境経済部長▼来年度、民間事業者に公募予定。

教育部長▼通学路付近に拡大された場合は、学校に情報提供する。

問 河川愛護活動やグリーン運動で加入する保険を熱中症も含むよう対象拡大を。

答 環境経済部長▼熱中症も含め見直す。建設部長▼更に各種補償内容も充実させる。



まつもと ただあき
松本 忠明 議員

幸田町の公共交通の将来像は



映像

交通結節点を中心にアクセス性を強化



幸田町地域公共交通計画で描く将来像の考え方と進め方を問う。

問 えこたんバスの利便性向上は。

答 企画部長▼交通結節点中心にルート再編し、便数増加、時間短縮を進めたい。土日運行や時間帯拡充は今後の研究課題とする。

問 スクールバス機能の拡充と存続は。

答 教育部長▼登校時利用等拡充は課題多い。存続は関係部署に申し入れ、協議する。



えこたんバス@JR相見駅

問 チョイソコこうたの利便性向上は。

答 企画部長▼えこたんバス補完のため全町展開を優先課題として取り組む。

問 新技術活用による利便性向上は。

答 自動運転活用等研究し、実施に結び付ける。

問 将来像実現のための財源確保は。

答 補助金の活用とスポンサーの協力。料金有料化を研究。

投票率向上のための計画や運用方法は



映像

啓発活動やイメージアップを行っていく



問 本町のここ数年の投票率は。

答 総務部長▼国政選挙は60%、地方選挙は40~50%。年代では20代以下は15%未満。

問 投票に行った人が得する選挙割を取り入れる考えは。

答 慎重に、研究する。

問 投票所で困った時、ボードなどで意思疎通の支援を。

答 すでにボードはある。支援カードは次の選挙から導入。

問 投票所に行きづらい町民への対応は。

答 本町の「チョイソコこうた」の全町への拡大など、今後、支援策を研究していく。

問 移動選挙投票カーなどの導入は。

答 現体制では困難。今後の研究課題。

問 投票率向上のための計画や運用方法、周知方法は。

答 チラシ、HP、広報ことうた、防災無線などで啓発活動。投票済証の裏面に絵や口ゴマークでイメージアップ。若年層には「出前講座」を行っている。



のさか じゅんこ
野坂 純子 議員



出前講座で模擬投票



投票済証の裏面